

報道関係各位

2018 年 5 月 7 日

IED テクニカルミーティングを北海道地区で開催

多機能汎用型の保護・制御装置である IED（インテリジェント・エレクトロニック・デバイス）の日本国内への適用拡大を狙いとし、GE 製 IED の国内販売代理店である東京電設サービス(株)（東京都台東区東上野、手島 康博社長）が主体となり開催している IED テクニカルミーティングを今回北海道地区で開催する運びとなりました。

（過去 2 回は東京にて開催）

IED は【図】のように保護・制御・計測・記録機能などが搭載されており、ユーザーがそれぞれの用途に応じて機能をセッティングすることができ、内部シーケンスの自由度が高いなど多機能や柔軟性、および低コスト化などがその大きな特長です。



【図】 IED の概要

開催日程は平成 30 年 5 月 24 日と 25 日の 2 日間で行い、初日のミーティングは株式会社 電制（北海道江別市工業町、田上寛社長）で開催します。

電制では 2014 年に北海道電力(株)の水力発電所（出力 10,000kW）に商用初号機となる IED 適用保護継電器盤【写真】を納入以降、北海道電力(株)、北海道企業局の計 9 発電所に同様の装置を納入しており、適用実績を積み重ねてきている点を評価いただいたの開催となりました。

今回のミーティングは IED に関する最新情報の提供や技術交流を目的とし、日本語表示が可能な新しい表示パネルを適用した機種種の展示をはじめ、メタクラ保護への適用事例や最新技術の紹介などを予定しており、国内各地より IED の採用実績のある、もしくは採用検討中である配電盤製造メーカーを主に 7 社、計 20 名の参加を予定しております。

また翌 25 日(は北海道電力(株)にご協力をいただき、IED 適用保護継電器盤を納入した発電所の施設見学を予定しております。



【写真】 水力発電所へ納入した IED 適用保護継電器盤